

# 平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立足立東高等学校

全日制課程

## 1 計画の概要

本校は、幼保園1園、保育所2園、小・中学校と隣接しており、様々な機会に連携を図っている。日常の教育活動においては、本校生徒の体験学習やボランティア活動を受け入れてもらっている。

本推進事業として、以前から近隣の幼保園・保育所や小・中学校との連携により本校で「ジョイントコンサート」を実施してきたが、今年度は本校の第1学年全員を参加させ、準備活動や合唱参加から後片付けまでを行い、積極的な参加形態に発展した。

また、地域青少年健全育成球技大会や餅つき大会へのボランティア参加をより発展させ、新たな取組として区立中川東小学校児童の登校時の通学支援ボランティアを行っているほか、手話同好会やボランティア部の部活動として、生徒と顧問教諭が放課後に幼保園を訪問して、園の子供たちを交えた活動を行っている。

## 2 実施内容

今年度から「ジョイントコンサート」を本校の地域連携行事の中核に位置付けて、組織的に取り組むことにした。準備会議には音楽科担当教員と生活指導担当教員が参加し、ブラスバンド部と和太鼓部が演奏参加をした。また、本校体育館での開催に伴い、会場準備を第1学年生徒が行い、PTAが受付を行うなど、全校体制で取り組んでいる。これにより関係参加校から積極的な協力とご理解をいただいた。この結果、来校者は幼保園約60名、近隣の小学校約220名、中学校約200名、本校210名、来賓20名、保護者120名、合計約830名となった。地域に根ざした「開かれた学校づくり」が地域の期待に応えながら発展していく取組として定着している。



本校の体育館が幼稚園児から小・中学生や保護者、地域の方たちで一杯になりました

## 3 成果と課題等

幼保園における餅つき大会では、和太鼓部、ブラスバンド部、ダンス部による演奏や演技を行い、日ごろの教育活動の成果を発表した。多くの園児たちや保護者の前での演奏や演技は、生徒にとって非常に緊張するようである。年々、上達する演技や演奏に園児たちから歓声と拍手が送られ、高い評価が得られた実感が生徒の自信につながっている。

また、毎朝の登校支援ボランティアは、3年目を迎え、登校する子供たちや近隣の方とのあいさつが交わされるようになり、真の地域交流が図られている。本校周辺は環状7号線の大谷田陸橋が近く、自動車の交通量が非常に多いことから、交通安全指導の側面からも地域の方から感謝されている。



幼稚園児との交流は緊張の反面、生徒たちの大きな自信に繋がっています。